

スウェーデン仕込み

私流の「オシャレな飲み方」

映画コメンテーター&タレント

LiLiCo

各家庭の暖かい室内で、毎週のようにパーティが開かれます。

とはいえ、スウェーデンは飲酒に非常に厳しい国という側面もあります。3・5度以上のアルコールは国営の販売店「システムボラーゲット」のみでしか買えません。しかも平日は10時から18時しか営業しない上に、商品はすべて常温管理。ですから急なパーティの土産として冷えたお酒をとというニーズにはまったく応えてくれません。そんな事情をスウェーデン人は心得ていて、各家庭では普段からお酒を大量にストックしているのです。

大のお酒好きな父も例外ではなく、他の部屋に比べ風通しがよく、室温の低いアトリエで多くのワインを貯蔵していました。ですから、幼い私の役割は、毎晩父が飲むワインをそのアトリエから探して行くことでした。

「シャルドネのワインを持ってきて！」
父はその日に飲みたいワインを私に伝えます。私は、「シャルドネ」なら、アルファベットの「C」と「H」のスペルをヒントに何本ものワインから探し出し、父の下に運びます。

言われたワインをきちんと運べるといふ使命感と達成感が幼心に嬉しかったですね。そうしてワインのラベルを覚えただのですが、今、ワインを通じて大人の付き合いができるようになったのは、この父の教えがあったからだと感じています。

スウェーデンにはワインはもちろん、ウオッカやシードル、スナップスなどいろいろな種類のお酒があります。特にビールの種類が多く、「ソフイエロ」や「マリエスタード」、「ストックホルム」など、数多くの銘柄が市場に溢れています。

さきほど、スウェーデンがアルコールに非常に厳格な国としましたが、カフェや飲食店が客にお酒を飲ませることはできて、ビンでの販売は禁止されています。しかも、レストランで飲めるのは18歳以上で、システムボラーゲットで購入できる年齢は20歳以上。クラブなどでは23歳以上にならないとお酒を飲むことができません。

スウェーデンのお酒事情を語る上で忘れてはいけないのは、短い夏を楽しむ夏至祭ですね。毎年6月の3週目の土日に開かれるのですが、国中で、「マイストンク」と呼ばれる10メートルほどの花で飾られた夏至柱が立てられます。人々の頭も花で飾り、マイストンクの周りで演奏に合わせて踊ります。

スウェーデン人は、昔から花など、地球から発生してくるものに魔法のパワーがあると信じています。地球からのプレゼントという認識です。頭に花をつけるのは、地球から湧き出た「知恵」を授かるというすこくロマンチックな言い伝えが残っているのです。でも、ホンネはみんなお酒を飲みたいのですけどね。

夏至祭の後は、8月に入って解禁となる

「ザリガニパーティ」です。このパーティではジャガイモの蒸留酒「アクアビット」を飲みますが、実は今夜「ファンミーティング」を開くのですが、そこで「ザリガニパーティ」をするんです。ファンの間では大盛り上がりですよ。ザリガニパーティでは、ザリガニの絵を描いた帽子をつけて歌いながら乾杯します。

万国共通、私独自の ワインの注文方法

18歳までスウェーデンで過ごした私は、1988年に来日します。アイドルにな

盛大な夏至祭と ザリガニパーティ

まずは、私が生まれ育ったスウェーデンのお酒事情からお話ししましょう。

スウェーデン人は、とにかくホームパーティが大好きです。短い夏を精一杯楽しむガーデンパーティ、そして冬になると今度は





つくくと、「これが嫌だったら売ればいい。スターのお尻を触るお客はいないから」と。この言葉は今でも私の「教訓」となっています。

えっ、その時代のお酒の飲み方？ まったく飲みませんというか、お金

もありませんので、飲めませんでしたね。やがて徐々に映画の吹替やCMナレーション、情報番組への出演などが増え、多少知られるようになり、ようやく自分のお金で好きなお酒を飲めるようになりましたが、それは何年も後のことです。

ジョージ・クルーニーがあまり売れていない頃の映画『素晴らしき日』を「ご覧になったことはありますか。私は毎年秋になるとこの映画が観たくなります。最悪な出会いから始まる大人の男女の恋愛物語ですが、その中で、ワイングラスをホントに美味しそうに傾けるんですよ。私はこの映画を観るたびに赤ワインが飲みたくなっちゃうんです。

今お酒と言われれば、迷わずシャンパンの「モエ・エ・シャンドン」と言います。関連グッズまで揃えるほどに大好きなんです。私は料理によって飲むものを選びたいのですが、モエ・エ・シャンドンはほとんど何にでも合うのです。

赤ワインといえば、私流の全世界共通の頼み方があります。この頼み方をすると、どこでも間違いなく私好みのワインが出てくるのです。ウェイターから「どのよう

なワインがいいですか」と尋ねられたらこう答えます。

「飲みやすくて、フルーティで、軽くて、女の子が好きなタイプのワイン……とはまったくの逆のものをください」

「飲みやすくて、フルーティで、軽くて、女の子が好きなタイプのワイン……とはまったくの逆のものをください」

た。その後、神田うのちゃんを通じてモエ

最後に映画コメンテーターとして出演フジテレビ「ノンストップ」、NHKBS1「ランクス

の「飲みやすくて、フルーティで、軽くて、女の子が好きなタイプのワイン……とはまったくの逆のものをください」



LiLiCo×加納典明、22年ぶりのヌードセッション！『絶夜 LiLiCo写真集』5月26日緊急発売！映画コメンテーター、ラジオDJなどタレントとしてマルチな活躍を見せるLiLiCoがまさかの「ヤバイ」写真集を発売。約22年前に発売された加納典明氏によるヘアヌード写真集『前夜』からのモノクロ写真に加え、再び加納氏によって撮り下ろされたジャンルフリーの写真たちを詰め込んだ庄巻のヌードフォトブック。（双葉社・2800円＋税）

るための下積み生活が始まります。もともと休暇を利用して、何度も日本に住む祖母に会いに来ていたこともあり、日本の芸能界に強い関心がありました。これだけのテレビのチャンネルがあるんだから、何らかのチャンスはあるだろうという感覚でした。

今でこそ、車でのホームレス生活がクローブアップされますが、ホントに辛かったのは日本語の習得ですね。日本語ができなければMCの仕事もできません。歌のキャンペーンで廻るスナックではデュエットを依頼されても、歌えるのは丸暗記した数曲のみ。「歌手なんだから、それぐらい歌えないとダメだよ」なんてお客さんによく怒られていました。酔客にお尻を触られたこともあります。マネージャーに泣き

た。その後、神田うのちゃんを通じてモエ

の「飲みやすくて、フルーティで、軽くて、女の子が好きなタイプのワイン……とはまったくの逆のものをください」

【プロフィール】1970年スウェーデンストックホルム生まれ。18歳で来日。89年から芸能活動スタート。TBS「王様のブランチ」に映画コメンテーターとして出演フジテレビ「ノンストップ」、NHKBS1「ランクス」など出演番組も多数。ラジオ出演や声優、女優プロレスラーなどマルチに活躍する映画コメンテーター。ファッションにも意欲的に取り組むバグやジュエリーのデザイン、プロデュースも手掛ける。